

長期ステロイド使用後に強い全身リバウンドを経験した成人アトピーの経過 (30 歳女性)

症例 ID：001-30-HKa | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

約 10 年間ステロイドによる治療を受け、体全体に栄養クリームのように塗っていた時期がありました。結婚後に症状がひどくなり、入院を要するほどになりました。薬が効かなくなり、副作用と思われる変化も出始めたため、ステロイド離脱を決心して松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	約 10 年間、ステロイド外用薬を体全体に使用していました。入院時にも薬剤治療を受けています。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	約 10 年間。
中止時期	松本医院受診後、ステロイド離脱を開始しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	来院前	約 10 年間ステロイドを使用し、見た目にはごまかせていた時期がありました。
結婚後	来院前	症状がひどくなり、入院を要するほどになりました。
松本医院受診後	治療開始	ステロイド離脱を決心し、治療を開始しました。
治療初期～約 2 年間	リバウンド期	全身が赤紫に腫れ、深いしわ、亀裂、指の裂け、体液が止めどなく出る状態、痛み、悪寒、ふるえ、強いかゆみがありました。包帯やタオルを頭から足先まで巻いて過ごしました。
約 3 年後	経過後	両親との旅行、友人との外出ができるようになり、社会復帰できる状態になりました。
その後	長期経過	外見上はアトピーであったことを信じてもらえないほどの状態になり、法律事務所で仕事をしているとされています。

4. ピーク時期

ピークは、全身が赤紫に腫れ、皮膚の亀裂、体液、痛み、悪寒、ふるえ、強いかゆみがあり、包帯やタオルで全身を保護していた時期です。夜眠れず、寝たきりに近い状態でした。

5. 困りごと

- ・体液で包帯やタオルがすぐに濡れ、1日に2〜3回取り替える必要がありました。
- ・痛みと悪寒、ふるえ、かゆみで夜眠れず、寝たきりに近い生活になりました。
- ・働くことができず、精神的にも追い込まれる時期がありました。
- ・長いリバウンド経過の中で、本人と家族に大きな負担がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

項目	内容
IgE	初診時 5286。リバウンド期に大きく上昇し、ピークは 37000 前後とされています。その後の記録では 4990 まで低下しました。

7. 経過のまとめ

約 10 年間のステロイド使用後、松本医院受診をきっかけにステロイド離脱を開始し、約 2 年間にわたり非常に強い全身症状を経験しました。全身の腫れ、亀裂、体液、痛み、悪寒、ふるえ、かゆみがあり、包帯やタオルで保護して過ごしました。

約 3 年の経過後には、両親との旅行や友人との外出ができるようになり、社会復帰できる状態になりました。その後は、外見上アトピーであったことを信じてもらえないほどの状態になり、仕事に戻りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。